

第40期事業報告書  
平成12年4月1日～平成13年3月31日



株式会社島精機製作所

# Message

## from the President

### 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第40期（平成12年4月1日から平成13年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期における経済情勢は、世界的にはアメリカ経済の急減速の影響がわが国をはじめアジア経済にも後退傾向を強める結果となりました。一方、わが国経済は、依然として停滞する個人消費や株式市場の低迷などによる先行き不安から、景気後退色が強まっております。

このような経営環境のもと、当社は、基本理念である「最高機能の製品を経済的な価格で提供し、ユーザーのニーズを先取りした、より魅力ある製品・技術の開発」に引き続き努力してまいりました。

当社の主力である横編機事業におきましては、ホールガーメント™（無縫製ニット）機を中心にハードウェア、ソフトウェア両面にわたる提案を進めるとともに、独自のノウハウによる新しいニットファッションの情報を発信することで高く評価され、数量ベースでは過去最高の売上台数を記録しました。海外市場ではアジア地域や中東、南米市場などが好調で、ヨーロッパも堅調に推移し

ましたが、国内市場におきましては、ニット、アパレル業界の設備投資意欲が一層鈍化し、非常に厳しい状況が続きました。

その結果、当期の売上高は、379億20百万円（前期比4.9%増）となりました。利益面は、ユーロ安および競争激化による販売価格の低下の影響はありましたが、合理化、効率化、コストダウンに努めたことにより、営業利益は36億54百万円（前期比2.5%増）となりました。また、年度後半には円安に転じたため、為替差益が発生し、経常利益は44億76百万円（前期比46億14百万円増）、当期利益は21億87百万円（前期比26億73百万円増）となりました。

今後の見通しにつきましては、海外市場ではアメリカの景気後退がアジア諸国に波及しつつあるものの、ヨーロッパをはじめ、南米やその他の地域では堅調に推移するものと考えられます。一方、国内市場は景気の先行きになお不透明感が強く、回復には時間を要するものと思われます。

このような経営環境のなかで、当社は、創業以来の創造力を発揮して、高感度、高感性が求められるファッション業界へ、「SWG - FIRST」シリーズによるホールガーメント™のさらなる浸透を図ります。またIT（情報技術）化を進めるなかで、ビジュアル情報発信の中核システムとしての「SDS - ONE」を積極的に提案するなど、これら新製品の拡販に努めます。さらに、独自のノウハウによるユーザーサポート体制の充実により、海外市場における収益の改善につなげるとともに、経営全般にわたる、より一層の合理化、効率化を推進し、業績の向上と経営基盤の強化に全力を傾注する所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、これまでと同様より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年6月

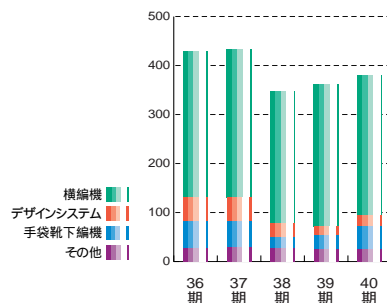
代表取締役社長

## 決算ハイライト

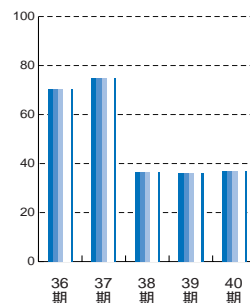
	(単体)		(連結)	
	当期 (平成13年3月期)	前期 (平成12年3月期)	当期 (平成13年3月期)	前期 (平成12年3月期)
売上高(百万円)	37,920	36,136	39,784	36,806
営業利益(百万円)	3,654	3,566	4,666	4,044
経常利益(百万円)	4,476	138	5,117	250
当期利益(百万円)	2,187	485	2,552	434
1株当り当期利益(円)	58.18	12.45	67.89	11.14
総資産(百万円)	94,873	93,548	99,068	98,046
純資産(百万円)	82,795	82,244	86,557	85,957

## 業績の推移(単体)

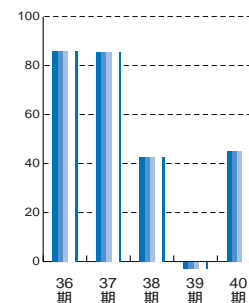
売上高(単位:億円)



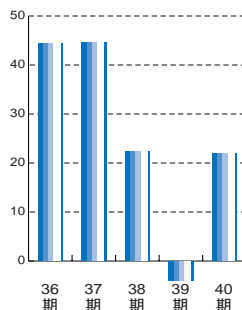
営業利益(単位:億円)



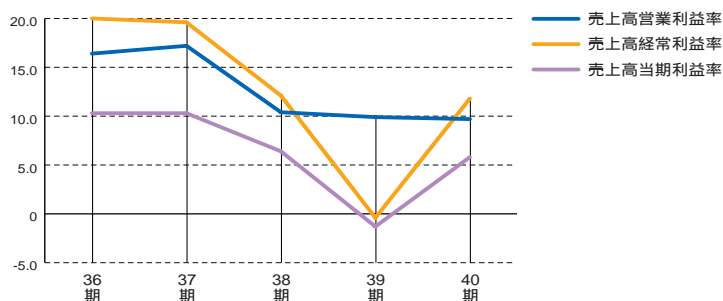
経常利益(単位:億円)



当期利益(単位:億円)



(単位:%)



## トピックス

### ファッション業界へ向けた新しい提案 ～デザインシステムによるITの推進～

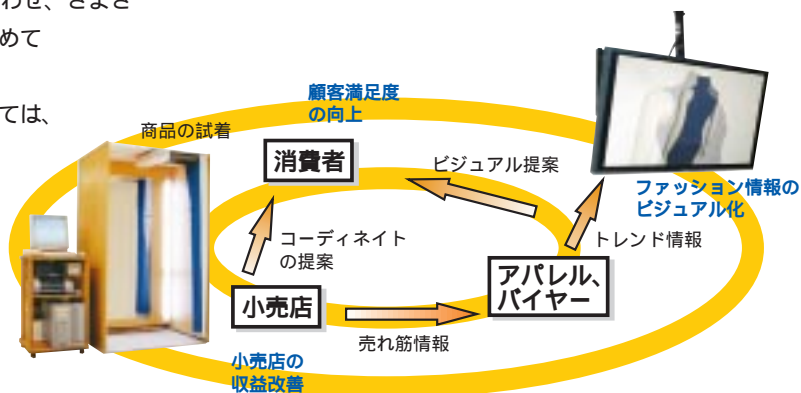
日本をはじめとする先進国におけるファッション産業では、消費地に近いという利点を最大限に活かしたうえで、付加価値・顧客満足度の双方を高めた商品の生産・販売の手段が求められています。

当社ではこうしたユーザー業界の声をいち早く取り入れ、ユーザーごとに異なるニーズにあわせ、さまざまなシステム機器やノウハウの提供に努めております。

まず、アパレル商品の生産段階においては、変化の激しいファッショントレンドに即座に対応できる生産システムが求められているなか、当社はデザインシステム「SDS - ONE」を核に、リードタイムの短縮や多品種少ロット生産に対応した「トータルファッションシステム」を個別に提案しております。

また、流通・小売段階では、仕入れ商品の売れ残りや品切れロスをなくし、小売店における収益率の改善を進めることが大きな課題のひとつとして挙げられます。これらの解決策のひとつとして提案しているのが、小売業界における新しいビジネスモデルである「ビジュアル・フィッティング・システム」です。

このように当社では、デザインシステムによるITを推進し、ファッション業界における企画から生産、販売、流通・小売を一元化させるためのシステムやノウハウを提供することで、さらなるビジネスチャンスの拡大に努めてまいります。



#### 【ビジュアル・フィッティング・システム】

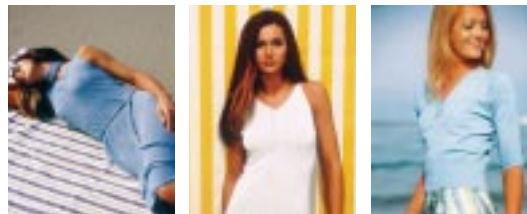
店頭における話題性を高め、集客を図るだけでなく、さまざまな形で展開するビジュアルデータをもとに、消費者の満足度を高めるための小売店へ向けた新しいビジネスモデルです。



## ホールガーメント™の魅力 を広くアピール

当社の独自技術により世界に先駆けて開発された無縫製ニットホールガーメント™。その魅力をより多くの人に伝えるため、当社は積極的なアピール活動を行っています。

その拠点となるのが、東京・大阪に開設されたコミュニケーションスペース。ここでは、当社の専門スタッフとともに、ニットメーカーとアパレル・流通・小売が、ホールガーメント™を中心とした魅力の高いファッション商品づくりやそのノウハウ、最新ニットの有用性や可能性を、業界の垣根を越えて検討できる商談スペースとして活用されています。さらに、国内だけでなく、ファッションの中心地 - イタリア・ミラノへもその拠点を広げ、グローバルな展開を進めています。ミラノでは、当社から海外ユーザーへ情報を発信するだけでなく、ヨーロッパの最新ファッション情報を収集・分析し、日本の国内ユーザーへフィードバックすることで、国内市場の活性化にもつなげたいと考えています。



また、当社顧客への直接的なアプローチだけでなく、展示会などを通して、さまざまな角度からファッション業界全体へもアピールするなどホールガーメント™の認知度の向上を積極的に図っています。例えば、今年1月にイタリアで開催された糸などの素材やトレンドカラーの展示会として世界最大の「ピッティ・イマ

ジネ・フィラティ展』。ニットメーカーだけでなく、ファッション業界全体からの注目を集めるこの展示会に、最新鋭の編機「SWG - FIRST」シリーズで作成した最新トレンドニットサンプルを出品し、来場者より高い注目を集めました。



ミラノに開設された当社デザインセンター。世界のファッションの中心地でホールガーメント™の魅力をアピールします。

# Operational Review

## 営業活動のご報告

### 横編機部門

海外市場におきましては、最大の輸出国であるイタリアは堅調に推移し、また韓国、香港などを中心としたアジア市場も順調で、中東および南米市場も前期に比べ大幅に売上を増やすことができました。

一方、国内市場におきましては、東京、大阪に「コミュニケーションスペース」を設け、「SWG - FIRST」シリーズを中心に、魅力あるニット商品の情報提供を進めましたが、ニット、アパレル業界を取り巻く環境は依然として厳しく、設備投資が先送りされた結果、前期の実績を下回りました。

横編機全体としては、海外市場の好調により販売台数は過去最高となりましたが、販売価格の低下および

国内市場の不振の影響もあり、売上高は、284億29百万円（前期比2.1%減）となりました。



**SWG - FIRST**  
多機能コンピュータ横編機

### デザインシステム部門

デザインシステムにつきましては、ニットデザインから、生産、販売、流通にいたるコミュニケーションツールとして開発した新機種「SDS - ONE」を主軸に、販売活動に注力しました。その結果、幅広い機能、高い操作性が評価され、売上高は、22億42百万円（前期比21.5%増）となりました。

**SDS - ONE**  
デザインシステム



### 手袋靴下編機部門

手袋靴下編機につきましては、国内市場は低迷を抜け出せず、また海外はアメリカ市場の減速があったものの、韓国、中国などをはじめとしたアジア諸国が顕著な伸びを示したことにより、売上高は大幅に増加し、45億25百万円（前期比77.7%増）となりました。



**NewSFG**  
シームレス手袋編機

## 「限りなき前進」を支える開発・製造・販売体制

### ■ 業界のニーズを先取りした研究開発

当社では、ユーザー業界の発展のため、業界ニーズの先を見据えた研究開発により、ホールガーメント™（無縫製ニット）機、スライドニードルなど画期的な製品・技術の開発で常に新しい可能性を切り開いてきました。

このように当社は開発型の企業として、創造性と優れた感性を融合することで、革新的な技術を生み出し、顧客満足度の高い製品を実現しています。



左は従来の編み針、右は新開発の編み針（スライドニードル）。スライドニードルは左右対称のループを作ることができるため、ニットの編み目がきれいになります。

### ■ 研究開発と直結した製造体制

当社の製造部門は、最新鋭の生産設備が導入された本社工場に集約され、研究開発と直結した体制で、先進的な技術を直ちに製品へと反映しています。

また、ハードウェア



からソフトウェアまで一貫して自社で生産している強みを活かし、常に市場動向を的確に捉えながら、品質の向上と共にコスト削減を実践することで「最高機能の製品を経済的な価格で提供する」ことを可能にしています。

### ■ グローバルな販売・サービス体制

国内だけでなく80ヶ国以上の海外との取引をサポートするため、イギリス、アメリカなどの現地法人を軸として、世界各国に代理店のネットワークを構築しています。

このネットワークを活用し、当社では、単に機械の販売だけにとどまらず、研修、技術サービスなどを通じ、独自のノウハウを活用したユーザーサポート体制の充実により、人材の育成と業界の活性化に努めています。



アメリカ現地法人  
SHIMA SEIKI U.S.A. INC.

この開発・製造・販売の三位一体による経営で、当社は常に新しい技術の開発に取り組み、革新的な製品を創り上げて世に送り出してきました。そしてこれが当社の躍進を支え、これからも当社が経営理念として掲げる「限りなき前進」の原動力となるものです。

# Financial Data

## 財務データ

### 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成13年3月31日現在	平成12年3月31日現在
<b>流動資産</b>	55,883	55,429
現金及び預金	6,508	6,487
受取手形及び売掛金	39,077	36,934
有価証券	254	1,187
たな卸資産	9,642	10,091
その他	619	910
貸倒引当金	219	182
<b>固定資産</b>	38,990	38,119
有形固定資産	29,170	28,731
建物及び構築物	6,316	6,907
工具器具備品	1,046	1,143
土地	21,215	20,075
その他	592	604
無形固定資産	132	71
投資等	9,686	9,316
投資有価証券	3,276	2,976
子会社株式及び子会社出資金	3,716	3,717
その他	4,497	3,613
貸倒引当金	1,804	990
<b>資産合計</b>	94,873	93,548
<b>流動負債</b>	10,821	10,433
支払手形及び買掛金	5,547	5,090
短期借入金	500	2,523
未払法人税等	1,526	7
賞与引当金	555	600
その他	2,691	2,211
<b>固定負債</b>	1,257	871
退職給付引当金	1,257	
退職給与引当金		871
<b>負債合計</b>	12,078	11,304
<b>資本</b>	14,859	14,859
法定準備金	23,748	23,592
剰余金	44,507	43,792
評価差額	320	
<b>資本合計</b>	82,795	82,244
<b>負債及び資本合計</b>	94,873	93,548

(注)

	(当期)	(前期)
1. 有形固定資産の減価償却累計額	17,052百万円	16,604百万円
2. 保証債務	6,410百万円	8,200百万円
3. 輸出手形割引高	993百万円	百万円
4. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。		

### 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成12年4月1日から平成13年3月31日まで	平成11年4月1日から平成12年3月31日まで
<b>売上高</b>	37,920	36,136
<b>売上原価</b>	24,382	23,042
<b>売上総利益</b>	13,537	13,094
<b>販売費及び一般管理費</b>	9,883	9,527
<b>営業利益</b>	3,654	3,566
営業外収益	1,201	1,204
営業外費用	378	4,908
経常利益又は経常損失( )	4,476	138
特別利益	11	384
特別損失	758	1,149
税引前当期利益又は税引前当期損失( )	3,729	903
法人税、住民税及び事業税	1,590	28
法人税等調整額	47	445
当期利益又は当期損失( )	2,187	485
前期繰越利益	2,105	966
過年度税効果調整額		103
利益による自己株式消却額		3,960
中間配当額	563	593
中間配当に伴う利益準備金積立額	56	59
当期末処分利益又は当期末処理損失( )	3,673	4,029

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

### 利益処分

(単位:円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	3,673,089,908
特別償却準備金取崩額	1,789,086
計	3,674,878,994
これを次のとおり処分いたしました。	
利益準備金	100,000,000
利益配当金	563,999,850
(1株につき15円)	
役員賞与金	30,000,000
(うち監査役賞与金)	(1,500,000)
特別償却準備金	14,645,298
別途積立金	1,000,000,000
次期繰越利益	1,966,233,846

(注) 1. 平成12年12月4日に563,997,900円(1株につき15円)の中間配当を実施しました。  
2. 特別償却準備金の積立及び取崩は、租税特別措置法の規定に基づくものであります。



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成13年3月31日現在	平成12年3月31日現在
流動資産	60,423	59,813
現金及び預金	9,829	9,362
受取手形及び売掛金	38,401	36,254
有価証券	254	1,197
たな卸資産	11,140	12,064
その他	1,095	1,205
貸倒引当金	299	272
固定資産	38,644	37,721
有形固定資産	30,621	30,230
建物及び構築物	6,868	7,471
工具器具備品	1,111	1,213
土地	21,453	20,310
その他	1,187	1,234
無形固定資産	143	79
投資その他の資産	7,879	7,411
投資有価証券	3,500	3,163
その他	6,182	5,237
貸倒引当金	1,803	989
為替換算調整勘定		511
資産合計	99,068	98,046
流動負債	10,842	10,857
支払手形及び買掛金	5,066	5,088
短期借入金	530	2,553
未払法人税等	1,741	115
賞与引当金	654	708
その他	2,850	2,391
固定負債	1,442	1,010
退職給付引当金	1,437	
退職給与引当金		990
その他	5	19
負債合計	12,284	11,867
少数株主持分	225	221
資本金	14,859	14,859
資本準備金	21,724	21,724
連結剰余金	50,610	49,374
その他有価証券評価差額金	320	
為替換算調整勘定	316	
自己株式	0	0
資本合計	86,557	85,957
負債、少数株主持分及び資本合計	99,068	98,046

## 連結損益及び剰余金結合計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで	平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで
売上高	39,784	36,806
売上原価	24,208	22,219
売上総利益	15,575	14,587
販売費及び一般管理費	10,909	10,542
営業利益	4,666	4,044
営業外収益	783	932
営業外費用	332	4,725
経常利益	5,117	250
特別利益	11	404
特別損失	815	1,177
税引前当期利益又は税引前当期損失( )	4,313	521
法人税、住民税及び事業税	1,911	304
法人税等調整額	155	390
少数株主利益又は損失( )	4	0
当期利益又は当期損失( )	2,552	434
連結剰余金期首残高	49,374	55,184
期首残高	49,374	54,419
過年度税効果調整額		765
連結剰余金減少高	1,315	5,375
配当金	1,315	1,385
役員賞与		30
(うち監査役賞与)	( )	(4)
利益による自己株式消却額		3,960
連結剰余金期末残高	50,610	49,374

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結貸借対照表の注記	(当 期)	(前 期)
1. 有形固定資産の減価償却累計額	19,301百万円	18,762百万円
2. 保証債務	6,395百万円	8,199百万円
3. 輸出手形割引高	993百万円	百万円
4. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。		

# Stock Information

## 株式の状況(平成13年3月31日現在)

### 大株主

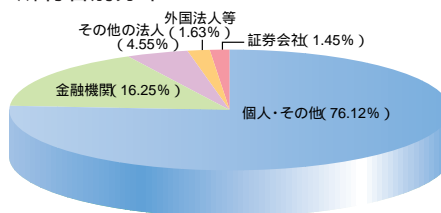
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
島 正 博	5,780	15.37
後 藤 明 史	2,890	7.68
島 三 博	1,980	5.26
株式会社三和銀行	1,428	3.79
島 節 子	1,198	3.18
シマセイキ社員持株会	1,191	3.16
島 和 代	781	2.07
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	738	1.96
和島興産株式会社	700	1.86
後 藤 ひ ろ み	697	1.85

(注)株式会社三和銀行は、東洋信託銀行株式会社、株式会社東海銀行とともに株式移転を実施し、平成13年4月2日をもって持株会社である株式会社U F Jホールディングスが設立されております。

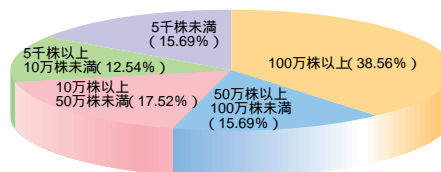
### 株式の状況

- 1 会社が発行する株式の総数 ..... 142,000,000株
- 2 発行済株式の総数 ..... 37,600,000株
- 3 当期末株主数 ..... 15,637名

### 所有者別分布



### 所有数別分布



## 株主優待のお知らせ

平成13年3月末日現在の単位株主様に、日頃の感謝の気持ちをこめて、株主優待として、イタリア Gruppo Tessile Caprai S.P.A. (カプライ テキスタイルグループ) の当社オリジナルレース製品をお届けいたします。

自らレース専用の糸を紡ぐほどの品質へのこだわりと、優雅で高貴なデザインをお楽しみください。お届けの時期につきましては、平成13年10月頃を予定しております。



### お届けの基準

100株以上	21cm × 21cm
1,000株以上	44cm × 44cm
3,000株以上	34cm × 34cm(シルク製)

なお、9月末日現在の単位株主様には、当社のグループ企業が経営する南紀白浜「ホテル マーキーズ」のペア宿泊優待割引券を進呈いたします(お届けは12月頃を予定)。

## 会社概要 (平成13年3月31日現在)

### 会社概要

商号	株式会社 島精機製作所
英訳名	SHIMA SEIKI MFG.,LTD.
本社	和歌山市坂田85番地
創立	昭和37年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員	1,039名
事業内容	コンピュータ横編機 シームレス手袋編機、靴下編機 コンピュータデザインシステム ニットCADシステム アパレルCAD / CAMシステム

### 役員

役名	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	島 正 博	
常務取締役	田 中 雅 夫	経理部長
常務取締役	村 元 勝	輸出部長
取締役	岩 倉 煌 一	企画部長
取締役	京 谷 実	生産技術部長兼システム生産技術部長
取締役	古金谷 伸 二	総務部長
取締役	有 本 博 行	資材部長
取締役	大 川 修	営業部長
取締役	森 田 敏 明	メカトロ開発部長
取締役	和 田 隆	製造技術部長
常勤監査役	巽 安 弘	
監査役	志 岐 正 純	
監査役	的 場 悠 紀	弁護士

(注) 1. 取締役 古金谷伸二は、平成13年6月28日付をもって、退任いたしました。  
2. 監査役 的場悠紀は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

### 事業所

本社	和歌山市坂田85番地
支店	東京支店 (東京都中央区) 大阪支店 (大阪市北区) 名古屋支店 (名古屋市中区) 泉州支店 (大阪府泉大津市)

営業所	山形営業所 (山形県山形市) 福島営業所 (福島県伊達郡保原町) 新潟営業所 (新潟県五泉市) 甲府営業所 (山梨県中巨摩郡昭和町) 四国営業所 (香川県大川郡白鳥町)
海外支店	台北支店

## 株 主 メ モ

決 算 期	毎年3月31日
配当金受取株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
基 準 日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ 公告して定めます。
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
株 式 事 務 取 扱 場 所	
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 東洋信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 東洋信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
同 取 次 所	東洋信託銀行株式会社全国本支店

# SHIMA SEIKI

株式会社島精機製作所  
和歌山市坂田85番地